

趣味・学習のデパート

温活・ハーブ・ハンドベル・無添加・パーソナルカラー・足の爪を学べる 6 講座を実施します。講座のお知らせが 5/15 市報に掲載されます。

地域の風 51

東大和市出身の俳優・フアンリテーター中村真季子(なかむらまきこ)さんに、演劇活動や全国各地での一人芝居についてお話を伺いました。

**俳優になったのは

小学校 5 年生の時の学芸会のオーディションで、演劇をやっていたかと思いましたが、演じることの快感を知りました。その後、演劇の専門学校に進みました。

**東日本大震災をきっかけに

被災地に行き、被害にあった多くの人々が傷ついたことを、知っておかなければいけないと思いました。自分は無力でボランティアには行きませんが、お芝居ならできると考え、大槌町の文化祭出演に応募し、活動を始めました。創作演劇を、住民の方達と一緒に作りました。役場の職員達は大槌をアピールしようと、今でも頑張っています。大槌町ならではの

子ども達に届けたい、コミュニケーションづくり

のアニメのゲームを作るなどして。

**演劇教育のワークショップを

演劇の体験型学習をするこ
とで、コミュニケーションをし
やすくするための学びとなり
ます。調布のせんがわ劇場で
は、学校のオーダーによって内
容は変わります。やりたくない
子、苦手な子は無理にやらなく
ていい。ひょうひょうとしてい
た子が次第に目覚め、その子の
持っている力があふれてきま
す。子ども達は学校がすべてで
はない。市内新設の特別支援学
校も開かれた学校にしてほし
い。地元の子とも達と、触れ合
える学校であってほしい。障害
の有無に関わらず多様な市民
が関わり合う事で、お互いの刺
激と理解につながるかと。
公民館講座やヤングフェス
ティバルの講座での縁で、市内
活動が始まりました。講座は少
人数でしたが、表情でそれぞ

演劇活動はこちらのQRコードをご覧ください



**量一枚分あれば

演劇を見ない人にも届けた
い。量一枚分あれば出来る一人
芝居を作りました。色々な事を
伝えたい。

コロナ禍で思うように、ワー
クショップをやれない事があ
るが、あきらめない。ゆらぐこ
とはないです。大槌で皆さんが
頑張っている。私も何か出来る
事がないかと考えています。



情熱あふれる語りとその美しさ
に、心を奪われました。(若松)

* 次回の市内ワークショップ
プ・6月3日(土) 午後2
4時30分 会場Ⅱハミン
グホール



NO. 24

社会福祉法人みんなの会「みんなの家」は、3つの事業所を統合し、新施設が芋窪に完成しました。

施設長の佐藤佐知子さんと法人理事の森田由美子さんにお話をうかがいました。

* 設立当時の思い

まだ介護保険など制度が全くない時に、家族が倒れ自宅で介護したいが、生活をするためには働きに出たいという方がいました。そこで、東大和にも中途障害の人達の作業所が必要ではないのかと、地域の方の協力で以前使っていた事務所を貸してもらい、必要な物を持ち寄って、1991年「第1みんなの家」が8人の利用者で始まりました。1年で利用者がいっぱいになり、2年後には「第2みんなの家」が出来、翌々年には「第3みんなの家」が開所しました。

行く所が無かった皆さんが、陶芸と刺し子をそれぞれやっていました。今までは普通に働いていたのに、中途障害になってしまい、本人にも家族にも笑顔が無かったのですが、自分よりも障害が重い人も頑張っているとか、同じ思いを通して来た人達の励ましがあ、気持ちや和らいでいき笑顔が増え積極的に動けるようになってきました。作業所の力って大きいと思いました。

* 「みんなの家」の名前の由来は？

みんなで作る「みんなの家」だと思います。共同作業所はお世話になるばかりではなく、みんなで協力していく、ご本人もみんなで作っていく、やっていこうという気持ちを表していると思います。

* 新施設を建てるきっかけは？

今まで脳出血、脳梗塞の後遺症の方が主だったんですが、法制度がいろいろ変わって、若い知的障害の方や発達障害の方、障害種別で分かれていたものが、一緒になっていいよという制度になり、大きく変わりました。ワンフロアの中に、いろいろな障害の方、年齢の方になって手狭にもなり、過ごし辛く

なっていました。皆さん若くなるわけではないので、重度化して車いすになる方も増えて、スペースが無くて広い所で作業したいと思うようになりました。また、食事時には、陶芸を片付けて、拭いてという生活だったし、トイレも狭かったので、8年ぐらい前から新しい建物を建てたいと計画し、よその作業所などを見学に行きました。

* 今後の展望を教えてください。

食品の部屋もきちんと出来たので、陶芸とさをり織のように、お菓子だけではなく、お惣菜も作って、食品も柱にして行きたいと思っています。販売活動で少しでも工賃を上げ、運営費をきちんと確保出来るようにして、職員も安心して長く働いて、次に繋げて行けるようにしていきたいと思っています。建物も新しくなって、皆さん喜びを持ってやっているので持続していけるようにしていきたいと思っています。地域の中で信頼してもらえるような施設になって行けばいいなと身の引き締まる思いがあります。

ここに来てから、今まで狭い所で人間関係が煮詰まってトラブルもあり悩みがありました。不思議な事に広い空間になって、それぞれの部署に分かれたらトラブルも少なくなって、長く休んでいた方もまた通えるようになって、仕事が出来なかった人が新しい人間関係の中で出来るようになってという変化が見られました。新たなお手伝い出来るようになった方もいて、自信を持てるようになった方もいました。人の生きる力ってすごいと日々思っています。

5月に「みんなの家まつり」を計画しています。まずはここでやってみて、どのぐらいの方が来てくださるか楽しみにしています。

さをり織の糸の色は利用者さんご本人が決めるそうです。温かみのある素敵な作品が出来るのが楽しみです。市役所や委託しているお店、共作連のホームページでも購入出来るそうです。今度のぞいてみようと思いました。(小林)





コロナ禍の令和 4 年度も南街公民館主催「趣味・学習講座 東大和は趣味・学習のデパート」を実施し、3つの自主グループができました！参加希望の方は南街公民館でお申し込みください。

「アロマ・オンガード」

9月7日に実施した、メディカルアロマアドバイザー板橋忍先生による、アロマの基礎と活用方法の体験講座から生まれたグループです。

講座参加者からは「身体の痛めた部位への手当てについてとても役に立ちました。学ぶことが多く、明るい兆しが見えました」と喜びの声が！

アロマというと若い方のためのもものと誤解してしまいがちですが、身体に悩みのある方には、年齢に関わらず対応でき、その心地良さに感激間違いなしです。南街公民館での定期的活動は現在行っていないですが、今後の活動についてはお問い合わせください。

「花クラフト」

11月16日は「小さなボックスにクリスマス飾ろう」と題して、フラワーデザイン&花育講師の箕輪和子先生から、簡単かわいいクリスマス飾りのクラフト講座がありました。

講座終了後も正月置き飾り、バレンタイン飾り、お雛様飾り、壁飾りなど自主グループとしてクラフトに取り組み、現在は南街公民館以外での活動となっておりますが、今後の活動についてはお問い合わせください。

「つつじ 音・健サロン」

10月26日の音楽療法士・介護福祉士・音楽健康指導士である矢嶋瑞貴先生には、身体を動かして音楽で楽しく介護予防ができる楽しい時間を作って頂きました。

今回の講座の中で一番多い21人の方にご参加いただきました。

先生のピアノに合わせて、歌ったり軽い運動をしたり、歌詞の穴あきを思い出すクイズがあったり、歌詞の言葉を皆で頭を絞って替え歌にしたり。皆さん楽しく歌ったり、しゃべったり、動いたりしています。

講座後も、月1回集まって活動をしています。5月からは予約抽選でお部屋が取れれば、第3水曜午前10時から正午まで活動する予定です。

1回300円で、介護予防になる楽しい集まりに参加しませんか？ ゆうゆうポイントも付きますよ！

参加ご希望の方は、お問い合わせください。

参加者の声：手を動かし足を動かし歌も歌い、とても楽しく過ごせました/子どもの頃歌った懐かしい歌を思い出しながら、体を使いながら、頭を使いながら、話し合いながらとそんな集まりです/月1回の音楽療法ですが、毎月待ち遠しいくらいです。いつもは出さない位大きな声で歌ったり、手話をしたりとすごく脳トレにもなります/脳に心地よい刺激で声を出し身体を動かし、あっという間に時間が過ぎて終わりの時間になっていきます。とても楽しいひと時です。



南街公民館活動グループによる展示&発表会

3月4日(土)～26日(日)

「南街公民館まつり」は令和2年3月から3回連続で開催を見合わせていました。同様のイベントの復活を目指した、令和4年から2度目となります南街公民館利用者連絡会主催の「南街公民館活動グループによる展示&発表会！」が開催されました。

<南街公民館まつりの様子>

※今年の発表部門と展示部門

★ 発表部門 ★

3月11日(土)

ハーモニカ(やさしいハーモニカあじさい&遊友会)、吟詠(吟詠教室)、カラオケ(秋和会・歌謡美津和会・仲好会)

3月12日(日)

朗読(朗読びたみんR)、学習成果発表(日本語の会)、日本舞踊(東大和市日本舞踊連盟)



★ 展示部門 ★

3月4日(土)～9日(木)

財政の研究(地方財政の会・ひつまぶしの会)、

3月11日(土)～12日(日)

絵画(絵画クラブ)、盆栽(東大和市盆友会)、陶芸(陶芸盆友会)、絵画(絵画サークル莓一絵)

3月15日(水)～19日(日)

パソコン(PCクラブ遊友会)、壁画・絵画・他作品(アトリエこんぺいとう)

3月22日(水)～26日(日)

研究発表(東大和まちグルメ研究発信の会)



発表のある2日間については、140人のご来場がありました。

華やかな開会イベントや模擬店ではなく、シンプルに各グループのお稽古をしてきた演奏などの舞台パフォーマンスや、作りためてきた作品の展示のみでしたが、やっと、同じ南街公民館を利用しているグループ同士で協力し合い、一つのイベントを作り上げ、地域の方々に披露することが出来ました。

依然と続くコロナ禍の最中ではありましたが、ご観覧くださいました地域の皆様、ありがとうございます。今後への参考のために、ご意見ご要望をお寄せ下さい。

【ハロー公民館編集委員募集中】

このおたよりは、公民館と市民の編集委員で取材、執筆、編集を行っています。パソコンができる方、写真が得意な方、一緒につくる仲間を募集しています。

また、南街周辺地域に各戸配布して下さるボランティアも募集しております。

詳細は、南街公民館まで！！

【取材記事募集！！】

また、ハロー公民館では取材記事を募集しております。取り上げてもらいたい記事がございましたら南街公民館までご連絡ください。

【編集後記】

五小、三中出身の中村さんは、小学5年生の時の学芸会でセリフを一言発した際に、演劇で生きていこうと決意されたとのこと。これからも俳優・演劇ワークショップの講師をされて色々な場所で演劇の魅力を発信してください。大きなエールを送ります。

「新みんなの家」を自己資金と借入金で作ることを決断し、多くの方々から支援を頂き、新施設を作ることが出来たというお話を伺い、所員の方々の行動力に感動しました。きれいで広い場所は、通所者の方々を明るい気持ちにさせて、作業が楽しくなる事でしょう。(目黒)